

# 転職者が語る、介護職の『魅力』

介護の現場では、さまざまな理由で介護者として転身をはかった方もたくさん働いています。まったく異なる業種から転職された皆さんに「なぜ介護職を選んだのか」や「転職者だからこそ感じる介護の魅力」などについてお話を伺いました。



JOB CHANGE

運送業

ケアマネージャー

「ありがとう」と言われる度、  
誰かの支えになれる  
喜びを実感します。

ケアマネージャー ケアプラン天川  
田中 宏樹

17年以上勤めた運送業を辞め、介護職に転職をしたのが40歳の頃です。現場で経験を積みながら、介護福祉士とケアマネージャーの資格を取得しました。介護の仕事

は人から「ありがとう」と感謝される仕事。それが大きな魅力です。「自分の存在が誰かを支えている」。その実感と喜びが私の原動力となっています。

JOB CHANGE

建設業

介護福祉士

“もの”ではなく、  
“ひと”と向き合いたい。  
それが転職のきっかけでした。

介護福祉士 ヘルパーステーションりん／うらそえ介護福祉士会 会長  
与那覇 涼

以前は建設業で働いていましたが、仕事に追われ仕事を「作業」として捉えている自分がありました。そんな時、人と向き合える仕事がしたいという思いが芽生え、介護職へ

チャレンジすることを決めました。「人間」は、人の間と書きますが、介護はまさに人間を学び、支援する仕事。それによって自分の人生も豊かになります。

JOB CHANGE

サービス業

介護福祉士

家族の将来を見据えて  
介護の業界を目指しました。  
現場でも毎日が勉強です。

介護福祉士 かりまた内科指定通所介護センター  
森 悟子

人と接するのが好きで、以前は雑貨屋で販売員をしていました。介護職を意識したのは、身内に介護が必要になったことがきっかけです。「何もできなかった」という後悔が残り、将来両親が介護を要した時は役立ちたいと強く思いました。現在は介護福祉士として利用者さん

の支援をしています。また、最近は「手話」の講座に通っており、もし手話が必要な利用者さんがいる場合は通訳なしでコミュニケーションが取れるようなスキルを身に付けたいと考えています。転職して、新しい気付きや学びが増えていくことに充実感を抱いています。